

秋田県には八峰白神、男鹿半島・大潟、ゆぎわ、そして認定を目指し活動をされている鳥海山・飛島の四つのジオパークがあります。これらの地域でガイドをされている方々、約70名が八峰町に集まり、二日間にわたって「ガイド共通講座」が開催されました。

この講座は秋田県ジオパーク連絡協議会の事業のひとつです。ガイドのスキルアップや、情報交換、親睦を深めることを目的として今年度はじめて開かれました。

二日目にはジオツアーを行いました。八峰白神ジオパークのジオサイトを、八峰町白神ガイドの会の4名が案内しました。その時の様子や、感じたことを伊勢富雄氏に紹介していただきます。



各種大会等報告会

ジオサイトNo.33「割りこんできたマグマ」を案内して

伊勢 富雄

岩館海浜プールの北側に白っぽい岩が帯のように続いている所があります。私はこのサイトを参加者の皆様にガイドしました。

はじめにプール北側から前述の白っぽい岩体を説明しました。白っぽい岩石はデイサイトと呼ばれている岩石で、マグマが地下から上昇して固まった岩石・火山岩の種類の一つです。(写真1)

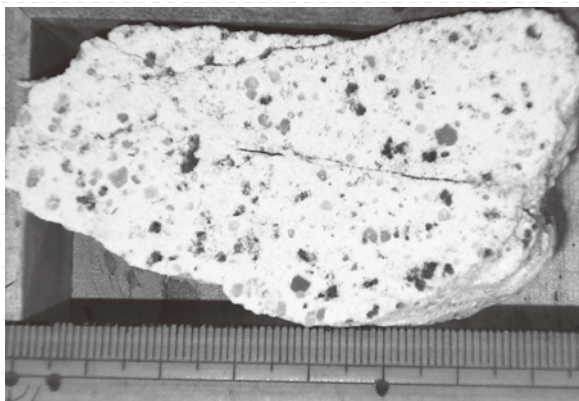


写真1 デイサイトの切断面

またこの岩石が帯状になっている訳は、地層の割れ目にマグマが上昇してきたために出来たもので、帯状の形は実は地層の割れ目であったことなども

付け加えました。

次にデイサイトの両側にみられる地層に話を移して観察してもらいました。これらの地層(写真2)は暗褐色から暗緑色の岩石で、それらのほとんどはグリーンタフと呼ばれる岩石で、デイサイトから離れるにしたがい褐色は薄れ、しだいに暗緑色に変わっていく事に注目してもらいました。なぜでしょうか？



写真2 デイサイトの買入の様子

これはグリーンタフの地層ができてから、そこに割れ目が発生し、その割れ目にドロドロに溶けた高温の溶岩(デイサイト)が昇ってきたために起こった現象です。そう考えるとデイサイトに近いほど熱の影響を受けやすく、もともと緑色であったグリーンタフが暗褐色に変化したものであると説明できます。

ガイドとして感じたことは、植物ばかりではなく、地形・地質もさらに研修を深め、ビジターに喜んでいただける力をつけたいということでした。

最後にジオサイトの案内を終えた後、町の観光市に立ち寄ったことは改めて意義のある企画だと感じました。参加者の皆様がホッと一息つくことができただけではないでしょうか？7月には東北ジオパークフォーラムが八峰町で開催されます。それに対応できるガイド養成を進めなければならないと考えます。

八峰白神ジオパーク推進協議会 事務局

〒018-2263

秋田県山本郡八峰町八森字三十釜一四四一

ぶなつこランド内

TEL 0185-77-3086